

5 充実した医療活動を送るために



医療賠償等のリスク軽減

- 国立病院機構独自の自家保険制度

医師のキャリアアップ



多彩な診療フィールドを準備

機構内の各地域、各病院の専門医として実力を発揮できるポスト



バックアップ体制

専門医、認定医、学位等の資格が取得できる、豊富な症例と指導医等の充実したバックアップ体制



若手医師向けのスキルアップ機会提供

全国規模で行われる研修や若手医師のみで行われるシンポジウム



NHOフェローシップ

機構に所属する若手医師が、自らのスキルアップを目的として、所属病院とは異なる他の機構病院へ一定期間研鑽を積むための制度

臨床研究ができる環境と豊富な実績

- 病院の臨床研究組織として臨床研究センター・臨床研究部を設置し、国立病院機構全体においても18領域のNHO研究ネットワークグループを設置して、臨床研究を実施する体制を整備
- 全国140の病院、約5万床の病床数、約6千人の医師が在籍するスケールメリットを活かし、質の高い臨床研究の企画、迅速な症例集積及び研究遂行が可能
- 研究費と支援体制の充実、年間2千報以上の英文論文を出版

詳細については 右記のQRコードを参照ください
<https://nho.hosp.go.jp/research/>



国立高度専門医療研究センターと交流

- 国立がん研究センター
- 国立国際医療研究センター
- 国立循環器病研究センター
- 国立成育医療研究センター
- 国立精神・神経医療研究センター
- 国立長寿医療研究センター

定年は65才

シニアフロンティア 制度等による勤務延長制度有り
(※)

※ 医師確保が困難な病院等において、最高70才まで引き続き勤務することができる国立病院機構独自の制度

兼業 ~ 許可により可能 ~

- 休日夜間急患センターにおける診療援助や地域の医療計画に基づいた民間医療機関における診療活動、機構病院と民間病院における病病連携、病診連携の推進上必要な診療活動、学校医、学校薬剤師など診療活動の援助に寄与する場合
- 支払基金審査委員や公害対策審議会委員などの審議会の委員を委嘱された場合
- 大学や看護師専門学校等の非常勤講師等教育活動の貢献に寄与する場合
- 医学雑誌の編集委員等学術振興・研究活動の貢献に寄与する場合

等